

自宅で母と夫を看取り。 一人になつてしまひ思うこと ～「介護」が愛おしい～

「介護って、何することなのか分からない」「大切な人の最期、寄り添いたいけど仕事を離れて介護に専念なんて無理」「少子高齢化、人手不足。自分の老後は、誰が介護してくれる」…「介護」という言葉には、どの世代にも様々な想いがあります。介護の在り方も生涯の終え方も、100人いれば100通り。人間誰しも迎える人生の終わりのこと、76歳の藤原さんは、どう受け止めどう向き合ってきたのでしょうか？

40代で管理職を務めながら母の介護と看取りを経験し、最近ではレビー小体型認知症の夫の在宅介護を続け、自宅で看取るまでを綴った新著「いのちの声：八鳥治久に伴走した日々」を発行した藤原さんの、長年の介護経験や人生観に触れ、「介護と看取り」について一緒に考えてみませんか？

2023年

11/30(木)
18:30～19:45

プログラム内容（予定）

- オープニング・ゲスト紹介
- Today'sエキスパート・トーク
- もっと聞きたい！ インタビュー
- みんなの声/Q&A

KK²会場または
ライブ参加の
どちらかを
お選びください



●ゲストエキスパート



ふじわら るみ
藤原 瑠美さん スウェーデン福祉研究者 医療福祉ジャーナリスト

1947年東京都生まれ。清泉女子大学卒業後、銀座和光に入社。認知症の母の在宅介護、看取りの後に退職し、スウェーデンエスロブ市の高齢者ケアの現場を定点観測。2013年に『ニルスの国の認知症ケア 医療から暮らしに転換したスウェーデン』(ドメス出版)で医療ジャーナリスト協会賞優秀賞受賞。2015年、国際医療福祉大学大学院で医療福祉ジャーナリズム学の博士号を修得。その他著書に『ボケママからの贈りもの一働きながらの在宅介護の記録』『ニルスの国の高齢者ケア～エーデル改革から15年目のスウェーデン』

*2010年「第11回エキスパート・スタジオ」ゲスト



最新刊
『いのちの声
八鳥治久に伴走した日々』
(2023/8/30発行)

●モレーター

いばの もとあき
伊庭野 基明さん KK²グローバルキャリアカウンセラー

このプログラムは、PCやスマートフォンで、Question・コメント・アンケート回答ができる
「DPP(デジタルプレゼンテーションプラットフォーム)」*を活用した双方向参加型です。
会場参加の方は是非PCやスマートフォンをお持ちいただきご参加ください。

*特許番号: 第6507328号、第6582262号、第7231146号



『オンライン投票』
『チャット』で共に考え学ぼう！

お申込み方法

一般の方はこちらから



KK2 検索

※KK²Web会員への登録が必要です(無料)

KK²会場(30人) または ライブ配信(500人)

※ライブ配信はスマートフォンでも参加可能です

※インターネット環境が必要です

学生の方はこちらから



● 参加費

学生:無料

1,500円

(税込)

※協賛メンバー会員は500円引き ※事前支払(クレジットカードのみ)